

| | | |
|---|---|---|
| <p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割を目指すべき学校像)</p> | <p>・不易と流行を踏まえ、グローバルに括約できる人材を育成する学校 調和のとれた人格形成を目指す多様な教育活動と活発な国際交流活動により、品格や礼節を重んじる態度や自己表現力、リーダーシップを育み、世界で活躍できる人材を育成します。</p> | |
| <p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p> | <p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)</p> | <p>・不易と流行を踏まえ、グローバルに活躍できる人材の育成</p> |
| | <p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)</p> | <p>・文化の香り高い校風、品格に富む生徒の育成 ・国際理解教育の推進</p> |
| | <p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)</p> | <p>・自己の将来像を真剣に考え、まじめに努力する生徒</p> |

学校運営計画(4月)

| 学校運営方針 | | | 評価 (総合) |
|--|--|---|------------|
| 昨年度の成果と課題 | 年度重点目標 | 具体的目標 | |
| <p>成果: (1)ACEプランの一環として、九州大学訪問をすることで難関大志望の生徒の意欲喚起ができた (2)自動採点システム(リアテンド)を円滑に導入でき、業務改善を行うことができた (3)総合的な探究の時間は、年間計画に基づき実施することができた (4)Instagramによる情報発信を頻繁に行い、幅広く学校の広報活動を発展させることができた (5)教育相談の組織体制の充実を図り、全職員が生徒に寄り添う指導を心掛けた結果、未然に諸問題に対応することができた (6)短期海外研修(ポストン研修)をはじめ、異文化理解を促進する企画を数多く行うことができた (7)校則や指定物品の見直しを行うことで保護者負担の軽減ができた (8)地域貢献活動を活発にすることができた 課題: (1)ホームページの新システムへの移行と充実 (2)学習塾への広報の充実 (3)交通安全教育の充実と自転車事故件数の減少 (4)探究活動の充実と多様な入試制度に対応する進路指導の推進 (5)SNSに係る人間関係トラブルの未然防止</p> | <p>「確かな学力の向上」 「キャリア教育の一層の推進と充実」 「自己指導能力を育成する組織的生徒指導体制の確立」 「今日的課題に対する対応」</p> | <p>計画的・体系的な教育課程経営を通じた学習指導要領の理念実現 観点別評価の充実や指導と評価の一体化の組織的推進 他者と協働して課題を解決する能力を育成するための教育活動の工夫 学習意欲の向上及び家庭学習の習慣化を図るための指導の工夫 国際社会で活躍できるよう、資格試験等を活用した「聞く」「話す」「読む」「書く」能力の育成 将来を見据えたキャリア教育及び3年間を通じた「総合的な探究の時間」の体系化と実践 個人面談の充実、進路先検討会・進路企画会議等による教職員の共通理解と指導体制の充実 生徒の進路希望に対応するためのICTを活用した個別指導や講座制等による効果的な課外及び補習の計画と実施 高い志を育み、難関大学合格を目指す学校全体での進路指導の充実 全職員の共通理解に基づき自ら考え行動する生徒の育成と厳しく親身な生徒指導体制の推進 心のこもった挨拶や静止礼の励行を基本とした礼節を重んじる教育の徹底 SNSによるトラブルやいじめ問題に対する未然防止と早期発見・早期対応の取組 自転車等の交通マナー指導の徹底などの交通安全対策への組織的対応 カウンセリングマインドに基づく寄り添う指導に徹した教育相談体制の推進 教育活動全体を横断的に見直し、生徒の多様な資質・能力を伸ばす効果的な教育活動の実施 異文化理解・グローバル化対応のための国際交流の機会の設定及び取組の推進 政治的教養を育み社会参画意識を醸成する主権者教育の実践と成人年齢引き下げに伴う消費者教育の充実 1人1台端末等を活用した教育DXの推進 教育相談領域の組織体制を効果的に運用しながら教職員全体による相談対応力の充実</p> | |

| 評価項目 | 具体的目標 | 具体的方策 | 生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等 | 生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等 |
|-------|---|--|--|----------------------------------|
| 総務企画部 | <p>計画的・体系的な教育課程の経営を円滑に行う</p> | <p>校務支援システムに関わることを増やすとともに、業務を更に割り振っていく。 1か月に1度は教務課会議を実施して、ミスのない円滑に教務課業務が行えるようにする。 早目の企画・準備・周知を行い、適切にICT等を用いて教員全体への通知を遅滞なく行っていく。</p> | <p>・授業アンケート ・公開授業アンケート</p> | |
| | <p>観点別評価の充実を図り、指導と評価の一体化を推進する</p> | <p>引き続き教科の実態に沿った観点別評価について検討し、弾力的に運用していく。 観点別評価を余裕をもって行えるような日程設定を行っていく。 採点システムやICT等を活用して、出席管理や評価の効率化を更に推進していく。</p> | | |
| | <p>持続的に教務課業務を運営できるようにする</p> | <p>教務課業務を精選・分担し、特定の教員に業務が集中せず複数人で業務にあたれるようにする。 時制・日程・考査の時間割などを生徒・教員の実情に合わせて弾力的に設定する。 ペーパーレス化を推進し、諸帳簿の電子データでの管理・運営に向けてスムーズに移行を行っていく。</p> | | |
| 図書企画部 | <p>幅広い教養と豊かな感性を備えた生徒を育成するために、読書啓発に努め、図書館利用を促進する</p> | <p>朝の10分間読書を実施し、読書習慣の定着を図る。 適切な選書および廃棄、図書の管理を通して、生徒や教職員が利用しやすい環境づくりに努める。 授業や学校行事、季節に合わせた展示をおこない、図書の貸し出しを促進する。</p> | <p>・図書委員会によるアンケート (図書館祭及び読書会後実施)</p> | |
| | <p>図書委員会の活動を通して、生徒の自主性と責任感を養うとともに、他者と協働して課題を解決する能力を育成する</p> | <p>カウンター業務・館内整理・図書館清掃など図書委員による委員会活動の活性化を図る。 図書館便り(年3回以上)、図書館報(年1回)、新着図書案内等の発行を通して、読書活動を推進する。 図書委員の係分担任を明確化し、自主性と責任感を養う。</p> | | |
| | <p>「図書館祭」の企画を充実させ、豊かな感性や表現力を養う</p> | <p>Classiや校内放送を活用し、図書館のイベントに関する情報発信を積極的におこなう。 前年度の反省点を活かしながら「平尾大学との合同読書会」を実施し、地域との交流を図る。 ブックハンティング(選書ツアー)の実施。</p> | | |
| 企画広報課 | <p>式典への早期の取組と円滑な運営</p> | <p>各分掌、学年との連絡調整を密に取る。式典、行事ごとの実施要項を早めに提示し、周知徹底を図る。 前年度までの反省をいかした式典、行事の運営を行う。また、次年度に向けて資料の整理を行う。 状況に応じてFCチャンネルを活用し、確実な行事、式典の運営を行う。</p> | <p>・式典や行事後のアンケート ・オープンスクール参加者アンケート ・PTA学校訪問アンケート ・高校体験入学中学生アンケート ・公開授業アンケート</p> | |
| | <p>中学生・保護者・中学校・学習塾への広報・PR活動の充実</p> | <p>「ちゅうおう丸」を公式キャラクターとして広める。学校ホームページやSNS(Instagram)を積極的に更新し、学校のPR活動を行う。 学校公開Week、オープンスクール、進路相談事業における中学生へのPR活動を円滑に行う。 中学校PTA訪問・中学生の体験入学の積極的受け入れを行う。受け入れ校も増えているので、多くの先生方が関わる形で行う。 給湯室衛生管理当番制の継続、冷蔵庫の整理を長期休業中前に行う。</p> | | |
| | <p>庶務分野の確実な実施と職員の福利厚生面への寄与</p> | <p>新任職員の靴箱・レターケースの整理など年度末・年度当初の業務の確実な実施を協力して行う。</p> | | |
| 生徒育成部 | <p>生徒の自己指導能力を育成し、生徒に規律ある学校生活を送らせる</p> | <p>新校則の改善点等を生徒会・PTA等と共に考え、全職員の共通理解のもと親身に生徒指導にあたる。 SNS等によるトラブルやいじめの未然防止のため、生徒が自ら考える機会を設けるとともに、早期発見・早期対応に努める。 年度初めや年度末に生徒情報の共有を丁寧に行い、適応支援につなげ、全職員による相談対応力を充実させる。</p> | <p>・学校満足度アンケート</p> | |
| | <p>礼節を重んじ、生徒が互いの個性を尊重する態度と、その自己表現力を高める</p> | <p>生徒会活動の主体性を支援し、各種行事を進展させ、学校活性化を図る。 学校行事や部活動等で、生徒が活躍できる場面を多く設定し、成就感を経験させ、リーダーシップ等を育成する。 校門礼・静止礼など本校の良き伝統を上級生から下級生に継承させる。</p> | <p>・生徒会によるアンケート</p> | |
| | <p>緊急時でも生徒が安全安心できるように、地域や関係機関と連携する</p> | <p>交通安全教室を含む自転車の交通マナー指導を組織的に行い、交通事故・苦情の減少を図る。 学校行事や部活動結果など本校生の活躍を、企画広報課と連携して、外部に情報発信する。 登下校指導・夜間パトロール等で地域(平尾校区)と連携し、生徒の安全安心を守る。</p> | <p>・風紀局によるアンケート</p> | |
| | <p>生徒が心身ともに健康で安心して学校生活を送ることができるように支援する</p> | <p>生徒の健康状態を把握し、養護教諭と担任、管理職との迅速な連絡および情報共有を図り、適切に対処する。 生徒の健康課題を支援するために必要な情報を共有し、校内や家庭との連携を図りやすい環境づくりに取り組む。 保健だより・保健委員による放送等を活用し、健康増進及び感染症の予防に努める。</p> | <p>・保健局によるアンケート</p> | |
| 保健環境課 | <p>生徒・職員の安全を確保する</p> | <p>一次救命処置(心肺蘇生・AED)及びアナフィラキシーショックについての職員研修を実施する。AED増設を検討する。 校内の安全点検は担当箇所を変更して多くの視点で確認しながら定期的実施し、職員全体の安全意識を高める。 職員・生徒ともに避難経路と防火シャッター・扉の設置場所を把握しつつ、自分で考え行動できる力を育むことができるよう、効果的な防災訓練を実施する。</p> | <p>・保健局によるアンケート</p> | |
| | <p>「中央ECOプラン」の更なる定着、校内美化に努める</p> | <p>掲示・放送等を活用してごみの削減・分別、リサイクル活動を徹底し、学校全体で環境への意識向上を図る。 美化局が活発に情報発信する機会を設け、校内環境をより美しくできるよう努める。 前後期ともにワックスかけを行い、環境への感謝の心を育む。</p> | <p>・美化局によるアンケート</p> | |

| | | | | | |
|---------|-------|--|---|--|--|
| キャリア教育部 | 進路指導課 | 九州大学他難関大20名以上、国公立大学計130名以上の合格 | 大学進学課外において、生徒の進路希望に応じた講座、特に難関大対策講座を開講し、内容の充実を図る。 年3回の進路先検討会について、その時期に応じた内容を工夫する。 学校推薦型選抜及び総合型選抜対策として、教員に対し面接指導や小論文指導の研修会などを実施する。 | ・課外についてのアンケート ・年間振り返りシートによるアンケート ・進路実績 | |
| | | 生徒の進路意識向上に対するサポート体制の充実 | 「進路の手引き」を早期に完成し、模試の事前指導(素点指導)の充実を図るなど、年間を通して活用する。 ACEプランとして上位者面談、大学フェスなどの実施や高大連携をはかる。 1・2年次から、面談等を通して将来を見据えた志望校選択と志望理由について考えさせる時間を設ける。 | ・年間の振り返りや行事後によるアンケート | |
| | | 3年間を通じたキャリア教育の充実 | 「総合的な探究の時間」については、全体計画及び各学年の年間指導計画にもとづき実施をする。 異文化理解・グローバル化対応として、AMSAチャータースクールとの交流、イングリッシュキャンプ、イングリッシュシャワーなどを行う。 | ・行事後のアンケート | |
| 研修情報課 | 研修情報課 | 授業改善に向けた取り組みの推進と充実 | 研究授業について、ICTを効果的に活用した授業実践を行い、以後の授業改善に活かせるようにする。 授業アンケート内の質問を一部改変し、教員・生徒とも自己の学習・授業を振り返る機会を設ける。 | ・授業アンケート ・公開授業アンケート | |
| | | 人権教育活動の推進 | 校内職員研修会を実施することで、職員の人権感覚の向上をはかる。 ネットリテラシーを含めた情報端末の使い方を人権教育や情報教育を通じて生徒・職員への周知を図る。 | ・年間の振り返りや授業後のアンケート | |
| | | 研修事業の計画的実施と教職員の資質向上 | 校外研修や公開授業の案内をClassi等を使って確実に実行し、積極的に参加することを促し、学んだことを共有できるようにする。 昨年度アンケートで希望が多かった内容について職員研修に積極的に取り入れ、日頃の教育活動に活かせるようにする。 | ・授業アンケート ・公開授業アンケート | |
| | | 1人1台端末などの情報機器の管理および有効活用 | Classiおよびgoogle クラブルームについて、領域・活用分野に合わせて教育支援ツールを使い分けられるようにする。 1人1台端末の活用方法について情報収集・提供するとともに、各考査まで授業で1回以上活用できるようにする。 | | |
| 第1学年 | 第1学年 | 主体的に学習に取り組む姿勢の確立と基礎学力の定着 | 学習に対する動機付けや観点別評価の充実を図り、学習意欲を向上させることで、自走できる生徒を育成する。 生活記録を習慣化させ、毎日2時間以上の自学を実践できる生徒を育成する。 1人1台端末を活用した、生徒が主体的・協働的に学ぶ授業の実践と課題の個別最適化に取り組む。 | ・年間の振り返りや活動後のアンケート | |
| | | 将来を見据えたキャリア教育の実践 | 計画的に進路に関するHRを実施することで、進路意識の高揚を図り、志高く「行くべき大学」を目指す生徒を育成する。 「総合的な探究の時間」や進路に関するHRを通して、学問や社会問題などに興味を持たせ、将来を見据えた自身の進むべき道を考えさせる。 講座制課外への参加と外部資格の取得、校外の講演会やセミナー等への参加を推奨し、進路実現への礎とする。 | | |
| | | 基本的生活習慣の確立と人権意識の育成 | 生活記録を習慣化させることで、時間を有効的に使うことの必要性を認識させ、基本的な生活リズムを確立させる。 部活動や行事への積極的な参加を促し、協働する体験を積ませることで多様性を尊重する姿勢を育てる。 人権学習を通して人権感覚を育み、自他を尊重し、お互いに高め合うことができる集団を構築する。 | | |
| | | 確かな学力の向上(進研模試の総合偏差値60以上100人以上を目指す) | 1人1台端末やICT機器を活用し、生徒の主体性と思考力を育む授業を行う。 基礎学力の定着を図るため、英数国のコンクールを実施する。 ACEプランや大学進学課外の活用により、習熟度に応じた対策を通して学力の向上を図る。 | | |
| 第2学年 | 第2学年 | 将来を見据えたキャリア教育の実践 | オープンキャンパスや看護体験など、様々な進路関連のイベントへの積極的な参加を促し、進路選択の幅を広げる。 「総合的な探究の時間」を充実させて、自らの興味・関心を将来の学びに繋げる。 教師自身も新課程入試や多様な入試形態を学び、その情報を生徒に積極的に活用させる。 | ・年間の振り返りや活動後のアンケート ・模擬試験の結果 | |
| | | 中堅・中核学年として、互いを尊重し、互いに高め合う集団の育成 | 修学旅行に向けて、日頃から役割や活躍の場を与えて、生徒の主体性・協働性を伸ばす。 生徒の情報を学年間で共有し、好ましい人間関係の構築に向けて、学年全体で生徒をサポートする。 大きな声での挨拶や校歌斉唱を奨励し、本校への帰属意識と中核学年としての自覚を高める。 | | |
| | | 自己の明確な設定目標に向けて計画的に取り組む、最後まであきらめない生徒の育成 | 自己の目標設定とそれに向けての計画・実践のために必要となる適確な進路情報を提供する 面談を通して、担任・副担任・教科担当者が個に応じたアドバイスをし、生徒の学習への意欲を高揚させる 難関大学20名以上、国公立大学130名以上合格を目標に、自己の能力や適切に基づく進路決定に向け、指導体制を整える。 | | |
| 第3学年 | 第3学年 | 最上級生としての意識を持ち、全てを自分事として捉え、創造し、行動できる人材の育成 | 下級生の手本となるような学校生活を送るとともに、勉学はもとより学校行事や部活動などに全力で取り組ませる。 上級生指導や体育大会などを通じてリーダーシップを養い、学校の歴史や伝統を継承する 国際交流や教育DXを推進し、グローバル化に伴う社会の変化に適応できる力を身につけさせる | ・年間の振り返りや活動後のアンケート | |
| | | 自らを取り巻く社会に感謝し、その発展に向けて貢献できる社会人の育成 | 日々の授業を通して、人権に関する知識や意欲・態度、実践力を身につけさせる 政治的教養を育み、積極的に社会参画しようとする社会人を育成する 礼節を重んじる教育を徹底し、地域に愛され、信頼される生徒を育成する | | |
| | | | | | |